

作成日 2005年5月16日
改定日 2022年3月22日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 NICEラテックス #45
製品コード E-1711
供給者の会社名称 株式会社 豊運
住所 大阪市東住吉区今川 3 - 12 - 4
担当部門 技術本部
電話番号 0494-62-5545
FAX番号 0494-62-5535
緊急時の連絡先 (東日本) 0247-54-3232、(西日本) 06-6708-8131
推奨用途 モルタル接着増強材・吸水調整材

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分 1
水生環境有害性 短期(急性)： 区分 3

(注) 上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 飲み込む/皮膚に接触する/吸入すると有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
眠気又はめまいのおそれ
水生生物に有害

注意書き
【安全対策】 絶対に飲まないこと。
使用前にSDSを入手し、全ての安全注意をよく読み、理解するまで取扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。
粉じん/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所で使用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急処置】 特別な処置が必要である。(項目4. 応急措置を参照)

【保管】 容器を密閉し、換気の良いところで保管すること。施錠して保管すること。
凍結 (3℃以下) や高温 (40℃以上) は避け、屋内で保管すること。

【廃棄】 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物
化学名又は一般名： 水性エマルジョン

化学名又は一般名	濃度または濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
アクリル系共重合体	39～41%	不明	不明	非公開
ポリ (オキシエチレン) アルキルエーテル	3～4%	7-97	既存	66455 - 14 - 9

水	53～55%	不明	不明	7732 - 18 - 5
その他添加剤	3%未満	不明	既存	非公開

- ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
(化学物質排出把握管理促進法)の第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しない。

ホルムアルデヒド放散等級自主制度による登録番号

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305243
放散等級区分	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

※アスベストに類する物質は含まない。

4. 応急処置

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：

多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませること。
直ちに医師の処置を受けること。

応急措置をする者の保護：

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 水、泡、粉末消火剤

使ってはならない消火剤： 情報なし。

火災時の特有の危険有害性： 製品自体は可燃物ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。
燃焼ガスには二酸化炭素、一酸化炭素などのガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないようにすること。

特有の消火方法： 消火作業は風上からお行うこと。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 適切な保護具（耐熱性衣類など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び注意事項：

漏出時の回収作業には保護手袋、保護長靴、保護メガネなど適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：

流路を毛布、土のうなどを用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。

河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協などに連絡を取る。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

多量流出の場合は、流路を毛布、土のうなどを用いてせき止め、大量流出の場合はバキュームなどで汲み上げ、少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライトなどを混ぜてモルタル状として、凝固回収する。

漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを禁止する。

残液や洗浄に使用した水は下水に流さないようにし、「項目13. 廃棄上の注意」を参照して適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策、安全取り扱い注意事項：

眼・皮膚等への接触を避けるために、適切な保護具(保護手袋・保護衣・保護長靴・保護眼鏡・保護面)を着用する。

取り扱う場合は換気の良い場所で行う。換気が十分でない場合は呼吸用保護具を着用する。

取り扱い後は手洗い・洗顔・うがい等を行い、取り扱い場所の近くに洗顔及び洗浄のための設備を設置する。

接触回避：

情報なし。

保管：

安全な保管条件

凍結・直射日光を避け、3℃～40℃の屋内で保管する。

皮張り防止のため、容器を密閉して保管する。

涼しく、換気の良い場所で施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

内面コーティングされた金属容器及びプラスチック容器

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度：

日本衛生産業学会（2016）： 設定されていない。
ACGIH（2016）： 設定されていない。

設備対策：

室内で取り扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼、水洗い設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

呼吸器用保護具： 防毒マスク
手の保護具： 不浸透性保護手袋
眼の保護具： 保護眼鏡（普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具： 保護長靴・保護衣
保護具は場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状： 液体
色： 乳白色
臭い： 微アクリル酸エステル臭
融点／凝固点： 約0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲： 約100℃
可燃性： データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： データなし
引火点： データなし
自然発火点： データなし
分解温度： データなし
pH： 7～9
動粘性率： データなし
溶解度： 水で無限大に希釈可能
n-オクタノール／水分配係数： データなし
蒸気圧： データなし
密度及び／又は相対密度： データなし
相対ガス密度： データなし
粒子特性： データなし
その他データ： 粘度： 0～400 mPa・s

10. 安定性及び反応性

反応性： 通常の条件では危険な反応は起こらない。
化学的安定性： 一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性： 現在のところ知見なし。
避けるべき条件： 3℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。凍結を避ける。
混触危険物質： 水と接触して発熱するもの、有害ガスを発生する恐れのあるものとは同一場所にしない。
危険有害な分解生成物： 情報なし。

11. 有害性情報

化学物質の有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
皮膚腐食性／刺激性： 成分データより、混合物は区分1（重篤な眼の損傷）となる。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： 成分データより、混合物は区分3（皮膚刺激）となる。
呼吸器感作性、皮膚感作性： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖細胞変異原性： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
発がん性： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖毒性： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
誤えん有害性： 成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
水生環境有害性 短期(急性)： 成分データより混合物は「区分3」（水生生物に有害）となる。
水生環境有害性 長期(慢性)： 但し、データのない成分42%を含む。
成分データが不十分のため、混合物は分類できない。

成分の有害性情報

ポリオキシエチレンアルキルエーテル

急性毒性	(経口):	経口	ラット	LD ₅₀	=544mg/kg
	(経皮):	経皮	ウサギ	LD ₅₀	>2000mg/kg
	(吸入):	吸入(ミストラット、4h)	LC ₅₀	=1.5mg/ℓ	

皮膚腐食性／刺激性： ウサギを用いた皮膚刺激性試験で中程度から重度の刺激性がみられた。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： ウサギを用いた眼刺激性試験で、強度の刺激性を示し35日に至っても正常に戻らなかった。

呼吸器感作性： データ不足のため、分類できない。

皮膚感作性： データ不足のため、分類できない。

生殖細胞変異原性： 体細胞 in vivo 変異原性試験で陰性の結果から区分外とす

発がん性： データ不足のため、分類できない。

生殖毒性： ラットの生殖毒性試験、催奇形性試験において、生殖毒性影響が見られていないことから区分外とする。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 麻酔作用(眠気又はめまいのおそれ)を示す。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： データ不足のため、分類できない。

誤えん有害性： データ不足のため、分類できない。

水生環境有害性 短期(急性)： 甲殻類(オオミジンコ) 48時間 EC50=1.4mg/L

水生環境有害性 長期(慢性)： 急速分解性があると推定されるものの、生物蓄積性はアルキル基の炭素数及びエチレンオキシドの付加モル数によって異なる。

添加剤A

急性毒性	(経口):	ラット	LD50	=284mg/kg
	(経皮):	データ不足のため、分類できない。		
	(吸入):	データ不足のため、分類できない。		

皮膚腐食性／刺激性： ウサギの試験結果で、腐食性がみられた。ヒトに対して腐食性の記載がある。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： ヒトに対して不可逆な障害があり、ウサギの試験結果で腐食性の記載がある。

呼吸器感作性： データ不足のため、分類できない。

皮膚感作性： データ不足のため、分類できない。

生殖細胞変異原性： データ不足のため、分類できない。

発がん性： データ不足のため、分類できない。

生殖毒性： データ不足のため、分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 臓器(呼吸器系)の障害を示す。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： データ不足のため、分類できない。

誤えん有害性： 吸引により肺炎に死に至る。

水生環境有害性 短期(急性)： データ不足のため、分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性)： データ不足のため、分類できない。

添加剤C	
急性毒性 (経口):	ラット LD ₅₀ =15600mg/kg
(経皮):	ウサギ LD ₅₀ =13300mg/kg
(吸入):	データ不足のため、分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	データ不足のため、分類できない。
呼吸器感作性:	データ不足のため、分類できない。
皮膚感作性:	データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため、分類できない。
発がん性:	データ不足のため、分類できない。
生殖毒性:	マウス及びハムスターの試験結果より、生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑いを示す。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	ラットの反復経口ばく露試験結果及び、ヒトの疫学調査の結果により、長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(腎臓・肝臓)の障害を示す。
誤えん有害性:	データ不足のため、分類できない。
水生環境有害性 短期(急性):	データ不足のため、分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性):	データ不足のため、分類できない。
添加剤F	
急性毒性	データ不足のため、分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	データ不足のため、分類できない。
呼吸器感作性, 皮膚感作性:	データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため、分類できない。
発がん性:	データ不足のため、分類できない。
生殖毒性:	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データ不足のため、分類できない。
誤えん有害性:	データ不足のため、分類できない。
水生環境有害性 短期(急性):	甲殻類(ネコゼミジンコ) 48時間 LC50=3.12mg/L
水生環境有害性 長期(慢性):	急性毒性が区分2で、急速分解性に関するデータがない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	データなし。
残留性・分解性:	データなし。
生態蓄積性:	データなし。
土壌中の移動性:	データなし。
オゾン層への有害性:	データなし。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。洗浄水などの廃水は、水質汚濁防止法などの関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
- 汚染容器及び包装： 内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- | | |
|--------|-------|
| 国連番号 | 該当しない |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |
- 国内規制
- 陸上規制： 消防法・労働安全衛生法・毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められるところに従うこと。
- 海上規制情報： 船舶安全法に定められるところに従うこと。
- 航空規制情報： 航空法に定められるところに従うこと。
- 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：
破袋、損傷、容器・包装からの漏出、転倒、落下等の荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

- | | | |
|-------------------|--------|--|
| ・労働安全衛生法 | 通知対象物質 | 該当しない |
| | 表示対象物質 | 該当しない |
| ・化審法 | | α -アルキル (C=12~15) - ω -ヒドロキシポリ (オキシエチレン)
※数平均分子量が1,000未満のものに限る。 |
| ・高圧ガス保安法 | | 該当しない |
| ・化学物質管理促進法 (PRTR) | | 法2条第2項 施工令第1条 別表1 (第1種指定化学物質)
ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル
※アルキル基の炭素数が12~15までのもの及びその混合物に限る。 |
| ・毒物及び劇物取締法 | | 該当しない。 |
| ・消防法 | | 該当しない。 |
| ・船舶安全法 | | 該当しない。 |
| ・海上汚染防止法： | | バラ積み輸送、未査定物質。個品運送、海洋汚染物質に該当しない。 |

16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7253:2019 [GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート (SDS)] に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で当社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料・情報・データなどに基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、当社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。取扱事業者は本データシートを参考として個々の取扱い、用途・用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取り扱いください。

